

ニーズの把握の方法について

1. 各府省のニーズ把握の取組のレビュー（経済産業省報告書等）

二次的利用の創設や推進に向け、各府省がこれまで行ってきた調査研究結果等をレビューすることにより、効率的にニーズを整理する。

2. 民間シンクタンク等のヒアリング結果の報告

（1）ヒアリングの視点

＜オーダーメイド集計＞

小地域統計等の整備が行われているなど、既存統計の整備に関する情報を提供した上で、その他にどのようなニーズを確認する。

＜匿名データの作成・提供＞

地域情報の削除等、匿名性確保のために匿名データには限界があるとした上で、ビジネスでの利用におけるニーズを確認する。

（2）ヒアリングの方法

事務局から現状や限界を説明した上で、どのような利用価値があるかについてヒアリングを行い、研究会に報告する。

3. 各府省等に寄せられたニーズ・照会等

各府省や統計センター等に寄せられた実際の相談のうち、ニーズを理解する上で必要と思われる照会を整理し、研究会に報告する。

4. 研究会での整理

上記1～3の整理を基に、想定されるニーズについて整理を行う。